

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		消防団運営事業		担当課	消防総務課	担当係	総務係	管理番号	50121	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市消防団条例 深谷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		地域の消防体制を推進するために、消防団体制の強化、並びに消防団員の福祉共済制度や公務災害補償等に参加することにより、消防団の円滑な運営を図っている。								
目的 ※何のために		火災等の各種災害による被害の軽減を図り、更には地域防災力を高めることにより地域の安全安心を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市消防団（1本部（女性分団含）及び、25分団）								
手段 ※どのように		処遇の改善、災害・傷害補償、備品購入、各種研修及び訓練を実施する。								
成果 ※何を求めるか		消防団員の士気の高揚及び、団員数の確保、装備品を充実させ、消防団活動の充実を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	2	消防団費	消防団運営事業	72,232,616
		一般会計	9	消防費	1	消防費	4	水防費	水害対策事業	339,352
本事業の 主な業務		・ 消防協会事務					・ 消防団員の被服、装備品の調達、貸与、管理			
		・ 消防団員の任免					・ 入団促進、充実強化に関する業務			
		・ 消防団員公務災害の認定請求、補償請求					・ 水防演習の実施			
		・ 特別点検、出初式等式典事務					・			
		・ 消防団員の災害出場、訓練、演習事務					・			
		・ 消防団員への報酬支払					・			

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	83,644,000	76,315,000	76,257,000	73,690,000		
	決算額	73,933,816	72,571,968	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	9,815,000	4,989,000	7,565,000	7,565,000	
		一般財源	64,118,816	67,582,968	68,692,000	66,125,000	
人件費	従事職員数（人）	0.70	0.70	1.10	1.10		
	人件費相当試算※	5,508,690.00	5,607,116.00	9,196,990.00	9,196,990.00		
総事業費試算		79,442,506	78,179,084	85,453,990	82,886,990		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	消防団 P R 活動実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当該年度に計画した消防団 P R 活動を全て行うことを目標とする。/実績数／計画数×１００						
	実績値の算出式								
活動指標 2	研修実施（推薦）率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		支部（現地研修、支部研修）、県協会（住警署研修、女性団員研修、初級幹部等の研修） / 実績数／計画数×１００						
	実績値の算出式								
成果指標 1	消防団員定数充足率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		94.92	96.19				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		充足率１００％を目指す。 / 実団員数／条例定数×１００						
	実績値の算出式								
成果指標 2	災害・演習訓練等出動回数	目標値							
		実績値		552.00	1,154.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害発生件数を見込むことができない。 / 消防団の出動回数実績						
	実績値の算出式								
成果指標 3	災害・演習訓練等出動延人数	目標値							
		実績値		2,994.00	5,973.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害発生件数を見込むことができない。 / 消防団員の出動人数実績						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防団入団促進の啓発活動は、消防フェアに参加するなど、市のイベントごとに計画的にポスターやチラシを作成して配布することができた。 また、第71回利根川水系連合総合水防演習に参加し、訓練を実施した。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	消防団員定員の充足率は、96.19%と昨年から1.27%上昇し、全国的にも高い水準ではあるが、今後も引き続き入団促進していく必要がある。 また、消防団員の装備の充実を図るため、防火服等を更新した。	
			評価者	総務係長 押田 裕介

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	消防団の定員に対する充足率は県内平均を上回っており、コロナ禍を経て、消防団活動が活発となり、災害・演習訓練等の出動回数は昨年と比較し大幅に増加したため、災害対応力の向上が期待できる。 団員の処遇改善のため新設した出動報酬について、電子申請とすることで、集計事務の効率化と団員への利便性の向上を図ることができた。	
			評価者	総務係長 押田 裕介

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	消防団は地域防災に欠かすことのできない重要な役割を担っている。継続的に自治会や商工団 体に対して入団促進を行い、必要な装備を配備し、十分な訓練を行うことで充実強化を図る必要 がある。
達成状況及び その効果	消防団員定員の充足率は上昇し、防火衣、防火帽を段階的に更新できている。 また、消防団員の充実強化を図るため、費用弁償を出動報酬に改めたことにより、活動実績に 即した報酬を支給することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団運営事業	担当課	消防総務課	担当係	総務係	管理番号	50121
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		深谷市消防団の定員充足率は、昨年と比較して上昇した。大規模災害等 に即時対応するためにも、消防団員の充実には地域防災力を高める重要な要 素となるため、今後も積極的に入団を促進し、消防団員を確保するための 処遇改善、消防団装備・教育訓練の充実を図っていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼消防総務課長 太田原 健二				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	消防団は地域防災に欠かすことのできない重要な役割を担っている。自治会や商工団体など に対して継続的に入団促進を行い、処遇改善の一環として、準中型自動車免許の取得補助制度を創 設する。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	将来にわたり消防団を維持し強化していくためには、団施設や車両の集約を含め、消防団と協 議していく必要がある。

8. 評価指標グラフ

